

1 平成 28 年度事業計画重点項目に関する総括

(1) 第 4 次地域福祉活動計画に基づく本会経営・事業の実施

(計画年度：平成 27～36 年度)

- 第 4 次地域福祉活動計画（以下「第 4 次計画」という。）に定めた平成 28 年度事業の遂行に努めました。
- 「第 4 次計画」に基づき、社会的包摂による生涯学習としての福祉教育を推進するため、第 3 次福祉教育推進計画の策定を行いました。

(2) 地域の福祉課題を解決するための「ともにいきるまち宗像」推進事業の充実

- 「第 4 次計画」に基づく「今日的小地域福祉活動のあり方」に基づき、今日的小地域ネットワーク活動のあり方を見直し、より充実した小地域ネットワーク活動を推進するため、地区福祉会連絡協議会とともに「支え合いマップ」づくりについて、研修と検討を行いました。
- 介護保険法の改正に基づく「介護予防・日常生活支援総合事業」の早期拡充を図るため、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）の改善と推進に関する検討を市や地区福祉会連絡協議会とともに協働して行いました。
- 社会的包摂による子どもから大人までの福祉教育を推進するため、認知症の人やその家族への理解と支援を得るための「認知症サポーター養成講座」や「認知症カフェ活動」、知的・精神・発達障がいがある人やその家族への理解と支援を得るための「見えにくい障がいを理解する研修」等の福祉教育実践プログラムを積極的に推進しました。

(3) 誰もが安心して暮らせる地域社会づくりの一助。地域福祉権利擁護事業

- 「第 4 次計画」に基づくライフサポート事業の検討事項として、成年後見制度とライフサポート（地域福祉権利擁護）事業、高齢者や障がいがある人への虐待防止事業を包括的に行う「地域福祉権利擁護センター（仮称）」の設置について、宗像市と連携・協働して検討を行いました。
- ライフサポート（日常生活自立支援）事業と成年後見制度との連携強化を図るため法人後見事業を実施するための規定の整備を行いました。

(4) 本会らしさを創造・維持するための自主財源の確保

- 補助金・委託金依存型の経営体質を改善するため、ファンドレイジング（地域福祉的資金調達技法）による寄付付き商品を主とした自主財源確保として「社協自販機の運営」「有料バナー広告」の実施、その他チャリティボウリング大会や共同募金運動への協力などを行いました。

(5) 障害者生活支援センターならびに障害者虐待防止センター事業の充実

- 平成 28 年 4 月に施行された障害者差別解消法については、その対応への検証を行う部会として、障害者自立支援協議会に権利擁護部会を新設し、運営・参画を行いました。また、今後の課題である障害者への差別事例の積み上げについては、相談支援ネットワーク会議を活用し、相談支援事業所への協力要請を行うとともに、本センターを窓口として対応をすすめていくことを確認しました。
- 本センターは、基幹相談支援センターであるため、相談支援事業所が行う「計画相談支援」の充実のための支援及び、多問題・困難ケースへの対応などについて専門的な支援を行うために、センター職員の資質の向上を図りました。
- 障害者虐待防止センター事業を含む障害者の権利擁護については、事業所を対象とした研修会の開催や個別の研修の対応などを実施し、予防・防止に努めました。また、「第 4 次計画」に基づく成年後見制度への対応については、「地域福祉権利擁護センター（仮称）」の設置に向けて、成年後見制度の申し立てに関する業務等への取り組みを行いました。

(6) 宗像市ボランティアセンター事業の充実

- ボランティアセンター事業では、市から受託している「V-net」関連事業の実施と充実に努めました。また、本会は地域福祉の先駆的・開拓的役割を担うことから、新しい地域課題に対応できる新たな福祉ボランティアの養成と支援を行うことで、ボランティア活動の充実に努めました。
- 学校における福祉教育では、ボランティアが参加・協力する機会が増えており、福祉教育とボランティア活動との連携・強化に努めました。

(7) 高齢者や障がい者への介護サービス事業経営の安定化とご利用者様へのサービスの充実

- 介護予防・日常生活支援総合事業の影響で、訪問介護事業の要支援者の利用は減少傾向にありますが、要支援から要介護への移行等の影響もあり、要介護者は年々減少傾向であったものが、前年並みの利用となりました。ただ、全体的な利用者の減少と、報酬単価等の減額の影響もあり収入は減少しています。
- 訪問介護事業・サービス提供責任者の確保が厳しい状況であったため、常勤日勤体制を常勤嘱託体制に変更し職員を確保することで、職員体制を整えました。また、在宅を支援する介護職の確保は、訪問介護員だけでなく、介護支援専門員も年々厳しい状況にあります。

(8) 宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営改善とご利用者様へのサービスの充実

- 相談から個別支援計画に至るまで、サービス利用計画が円滑に行われるように、発達支援センターとケースについて密に情報交換を行うよう努めました。また、業務やケースにおける検討事項については、その都度発達支援センターに報告し、状況により協議しながら業務遂行を行いました。
- 他施設の視察研修や情報交換等を行うことで、他施設での療育の取り組みについて学び、本園での療育内容の再検討を行いました。
- 相談支援事業では、発達に課題や心配のある幼児とその家族のニーズを捉え、的確なサービス等利用計画が立てられるように視察研修などを行いました。

2 法人運営に関する事業

(1) 本会の運営に関する事業

- ① 理事会・評議員会の開催
- ② 任期満了にともなう理事・評議員の改選
- 理事会の開催 5回開催 31議案

開催時期・会場	議案番号	議案	議決(承認)月日
第1回 ■5月27日 ■メイトム宗像 201会議室	第1号	評議員の同意について	5月27日
	第2号	指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について	
	第3号	指定訪問介護事業所、指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について	
	第4号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(同行援護)社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について	
	第5号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(居宅介護)社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について	
	第6号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するた	

		めの法律に基づく指定障害福祉サービス（重度訪問介護）社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について	
	第7号	平成28年度事業報告について	
	第8号	平成28年度決算報告ならびに監査報告について	
第2回 ■7月4日 ■メイトム宗像 201会議室	第9号	評議員の同意について	7月4日
	第10号	【追加議案】評議員の同意について	
第3回 ■7月25日 ■メイトム宗像 203会議室	第11号	会長・副会長の選任について	7月25日
	第12号	常務理事の同意について	
	第13号	専門委員会委員の選任について	
	第14号	常務理事の給与等に関する臨時特例規程の設置について	
第4回 ■12月20日 ■メイトム宗像 203会議室	第15号	定款の変更について	12月20日
	第16号	評議員選任・解任委員会運営規程の設置について	
	第17号	評議員選任・解任委員会委員の選任について	
	第18号	定款施行細則の一部改正について	
	第19号	評議員候補者の推薦について	
	第20号	スマイルハート事業運営規程の一部改正について	
	第21号	介護予防・日常生活支援総合事業における指定訪問型サービス事業所運営規程の設置について	
	第22号	専決処分の承認について（平成28年9月8日 嘱託職員の給与に関する規程の一部改正）	
第5回 ■3月29日 ■メイトム宗像 201会議室	第23号	専決処分の承認について（平成28年12月22日 職員給与規程の一部改正）	3月29日
	第24号	職員給与規程の一部改正について	
	第25号	臨時職員の賃金に関する規程の一部を改正する規程について	
	第26号	心配ごと相談所設置運営規程の一部改正について	
	第27号	法人後見事業実施規程について	
	第28号	経理規程について	
	第29号	定款変更に伴う定款施行細則及び関係規程の一部改正について	
	第30号	平成29年度 事業計画（案）について	
	第31号	平成29年度 事業予算（案）について	

■評議員会の開催 4回開催 6議案

開催時期・会場	議案番号	議 案	議決（承認） 月日
第1回 ■5月27日 ■メイトム宗像 202会議室	第1号	平成28年度事業報告について	5月27日
	第2号	平成28年度決算報告ならびに監査報告について	
第2回 ■7月11日 ■メイトム宗像 202会議室	第3号	理事の選任について	7月11日
	第4号	監事の選任について	

第3回 ■12月20日 ■メイトム宗像 202会議室	第5号	定款の変更について	12月20日
第4回 ■3月29日 ■メイトム宗像 202会議室	第6号	平成29年度 事業予算(案)について	3月29日
	第7号	平成29年度 事業計画(案)について	

(2) 定款・諸規程の整備

種別	議案	議決(承認) 月日
■定款等	<ul style="list-style-type: none"> 定款の一部改正 定款施行細則の一部改正 	12月20日
■諸規程	<ul style="list-style-type: none"> 指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正 指定訪問介護事業所、指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(同行援護)社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(居宅介護)社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス(重度訪問介護)社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正 	5月27日
	<ul style="list-style-type: none"> 常務理事の給与等に関する臨時特例規程の設置 	7月25日
	<ul style="list-style-type: none"> 評議員選任、解任委員会運営規程の設置 スマイルハート事業運営規程の一部改正 介護予防・日常生活支援総合事業における指定訪問型サービス事業所運営規程の設置 嘱託職員の給与に関する規程の一部改正 	12月20日
	<ul style="list-style-type: none"> 職員給与規程の一部改正 臨時職員の賃金に関する規程の一部を改正する規程について 心配ごと相談所設置運営規程の一部改正 法人後見事業実施規程の設置 経理規程について 定款変更に伴う定款施行細則及び関係規程の一部改正 	3月29日

(3) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：会長・常務理事・事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長
- 開催時期：毎月第4火曜日

(4) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として、必要な人権や接遇等の研修を行っている。

実施事業	実施時期	主な活動内容
新規採用職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ■4月15日 ■メイトム宗像 	対象者：4月1日新規採用職員 出席者数：2人(常勤嘱託職員1人・常勤臨時職員1人)

	202 会議室	内 容：社会福祉協議会や地域福祉、本会諸規程や担当事業 に 関 係 す る 事 業 （ 職 務 ） 等 に つ い て
安全運転管理者 講習会	■6月24日 ■宗像ユリックス	対象者：福祉企画課長・居宅介護課長 出席者数：2人 内容：道路交通法に定められた正副安全運転管理者の講習会。
職員安全運転研 修会	■2月15日 ■メイトム宗像 202 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上 出席者数：30人 講 師：後藤弥太郎さん リスクサーチ福岡代表 内 容：過去の交通事故のデータに基づき、事故が起きやす い状況の把握や改正道路交通法に基づく法令や罰則 等について
職員人権研修会	■3月9日 ■メイトム宗像 202 会議室	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。 出席者数：40人 演 題：障がいがある人への「無意識の不適切行為」を解消 するため 講 師：寺島正博（福岡県立大学人間社会学部講師・博士） 内 容：「障害者差別解消法」に関連し障がいがある人への「無 意識の不適切行為」を解消するために、障がい者へ の権利侵害や権利擁護等の観点から本会職員への人 権学習を行った。

(5) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監査員による会計等の監査を実施。監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて結果を公表している。

(6) 労働安全衛生委員会の実施

- 事業説明：本会の労働安全衛生や労働環境に関する諸事項について、基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長・衛生管理者・部門別代表等 計10人
- 開催時期：毎月第2金曜日

(7) 法人事務等の IT 化の推進と管理

- 事業説明：各部署でのウィルス感染や IT トラブルが発生したため、セキュリティーの充実を図り、感染やトラブル拡大を予防した。

(8) 第3次福祉教育推進計画の策定

- 事業説明：「第4次活動計画」による「社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進」を具体的に推進するため、次代を担う子どもとともに今の社会を支えている大人に対する福祉教育を効率的・効果的に推進するための活動計画の策定。
- 実施方法：標記計画策定のため策定委員会を設置し、4回策定委員会を実施し計画の策定を行った。

回	開催日	協議内容
第1回	平成28年12月2日	■委嘱状交付 ■正副委員長互選 ■諮問 ■福祉教育推進計画概要説明 ■今後の日程、審議内容について
第2回	平成29年1月12日	■第2次福祉教育推進計画事業進捗状況報告について ■計画の概要について ■基本構想について ■基本計画について
第3回	2月16日	■計画の概要の一部修正について ■基本構想の一部修正について ■基本計画の一部修正について ■実施計画について
第4回	3月15日	■基本計画の一部修正について ■福祉教育推進計画関係資料について ■今後の作業内容と日程について

3 “ともにいきるまち宗像” 推進事業の充実

(1) 福祉会組織化・育成事業

①福祉会組織化・育成事業

■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織。また、自治会単位（小地域）の福祉会を「小地域福祉会」、地区単位の福祉会を「地区福祉会」と称している。

■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書（昭和 61 年 1 策定）にて、“活動のための組織体制強化策”として採用した事業。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、翌昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会（現：自由ヶ丘地区福祉会）」が発足した。その後、各地に福祉会を組織化。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化された。

平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度再開した。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区（市内 12 地区）全域に地区福祉会が組織化された。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会（現：大島地区福祉会）が宗像市 13 番目の地区福祉会となった。

■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	楽しく食べて語るバスハイク、介護予防いきいき交流会事業/すみれサロン（9 回）、孝行ネットの推進、先進地視察研修、学童ふれあい活動、ボランティア育成、世代間交流事業
赤間地区	【赤間地区福祉会】	小地域福祉会情報交換会、救急キット配布および見守りネットワーク活動について地区内代表者会議(ちょボラ・ワンコインサービス協議含む)、先進地視察研修、高齢者閉じこもり予防食事会
	赤間区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(12 回)、福祉会花壇作業、1 日バスハイク、福祉研修会(不正商法について：消費生活センター)、ラジオ体操
	石丸区福祉会	見守り巡回活動(月 1 回)、世代間交流事業(バスハイク、芋掘り、どんど焼き)、ニュースポーツと茶話会、広報誌発行 2 回、介護予防いきいき交流会事業(1 回)、健康測定会への協力
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(ダーツ&冷やしソーメン、バスハイク、体操&豚汁など 6 回)、子ども夏休み学習会、道路クリーン活動、世代間交流事業(どんど焼き)、集会所花壇植付け
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10 回)、障害者激励プレゼント訪問、バスハイク
	陵巖寺区福祉会	ふれあい会食会サロン(二葉会/9 回)、1 日バスハイク、高齢者料理教室、友愛見守り活動(随時)、世代間交流事業(ニュースポーツ大会、昔遊び伝承、餅つき大会)、広報誌「福祉会」発行(年 5 回)
	三郎丸団地区福祉会	声かけ・安全確認、敬老の日記念品贈呈、介護予防いきいき交流会事業(2 回)

	広陵台1丁目福祉会	介護予防いきいき交流会(8回)、子ども登下校見守り事業、ラジオ体操、子ども見守り事業2(防犯マップ作成)、朝カフェ(ラジオ体操参加者)
	葉山区福祉会	ふれあい昼食会(お花見、あじさい祭り、お雛祭りなど4回)、介護予防いきいき交流会事業(6回)、福祉研修会(春季・秋季)世代間交流事業(イモ苗植え、芋掘りぜんざい会、ニュースポーツ大会など4回)、三社参りバスハイク、餅つき大会、日常の見守り活動(ほっとライン活動、分別収集・廃品回収、他)
	名残区福祉会	敬老祝賀会、独居高齢者交流会
	富地原区福祉会	ふれあい清掃活動(17回)、広報活動(7・3月)、介護予防いきいき交流会事業(5回)、世代間交流事業(餅つき大会)、健康測定会への協力
赤間西地区	【赤間西地区福祉会】	見守りネットワーク活動の推進、地域ボランティア登録事業の推進、介護予防いきいき交流会事業、赤間西小6年福祉教育への協力、福祉講演会、福祉だよりの発行、ステップアップ研修、世代間交流、先進地視察研修
	土穴区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、福祉員による見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(11回)、乙女の会(女性独居高齢者の会)・金太郎会(男性独居高齢者の会)の開催
	城ヶ谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(あすなろ会/10回)、ふれあいラジオ体操、独居高齢者との懇談会、見守りネットワーク活動準備会、刃物研ぎ、恵愛保育園園児と高齢者とのふれあい活動、福祉だより発行
	赤間ヶ丘1区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、福祉会便り発行
	赤間ヶ丘2区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(8回)、バスハイク、敬老祝賀会、広報「ふれ愛」の発行、見守り助け合い「向こう三軒両隣り安心運動」パトフラッシュによる緊急時の自発的警報発信の取組
	三郎丸区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、世代間交流事業(千燈明祭支援)、刃物研ぎ、高齢者への見守り声かけ活動、広報活動、登校時の声かけ
	城山区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(10回)、ラジオ体操、子ども見守り活動、刃物研ぎ
	大谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業(6回)、高齢者の見守り(災害時要援護者支援)
	泉ヶ丘1丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、敬老祝賀会、わんわんパトロールの実施、刃物研ぎ、ボランティアだよりの発行
	泉ヶ丘2丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(5回)、どんど焼き、七夕会、敬老祝賀会、世代間交流事業
	アーサー赤間駅前福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(3回)、七夕会、敬老祝賀会、クリスマス会

自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(10ヶ所/50回)、いきいきふれあいサロン代表者会議の開催、小地域福祉会の組織化の推進、福祉だより「ほほえみあい」、ミニ広報「お元気ですか」の発行、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6~12回開催)、民生委員との懇談会、福祉委員連絡会、福祉委員研修会、小地域福祉会組織化の推進、小地域化された福祉会【第2区会・南第2区会】
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、ボランティア研修、視察研修、役員会
	須恵区福祉会	高齢者バスハイク、見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(4回)、敬老祝賀会
	稲元区福祉会	世代間交流会、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(6回)
	福崎区福祉会	三世代交流会、介護予防いきいき交流会事業(4回)
	ひかりヶ丘福祉会	世代間交流事業、フリーサロン、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業(8回)、見守り訪問活動、たんぼぼの会活動、声かけ安全パトロール、福祉だよりの発行
	城西ヶ丘区福祉会	おしゃべりサロン、ふれあいバスハイク、夏祭り、視察研修、介護予防いきいき交流会事業(4回)
	天平台区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(1回)、福祉講演会、認知症サポーター養成講座、役員研修
南郷地区	【南郷地区福祉会】	福祉協力員研修、バスハイク(2回)、楽しく食べて語ろう会【楽食会、世代間交流】(2回)、先進地視察研修、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業(12か所/55回)、ふれあい見守り活動、どんど焼き、わくわく交流会、敬老の日の宛名書き、愛の年賀状宛名書き、住民生活福祉講座(計4回)
東郷地区	【東郷地区福祉会】	住民生活福祉講座(計4回)、医療講演会、福祉委員研修及び会議、赤い羽根ふくし事業、シルバー農園、ひとり暮らし高齢者バスハイク、理事及び福祉委員合同視察研修、福祉会だよりの発行、介護予防いきいき交流会事業(10か所/57回)
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議(年6回)、主任福祉員会議(年6回)、町内会長(福祉会長)と主任福祉員との意見交換会、民生委員と主任福祉員との情報交換会、福祉員のための福祉講座、ふれあい昼食会、おもちゃ病院、視察研修、シルバー農園、福祉員の集い、介護予防いきいき交流会事業、「日の里の福祉計画」の周知・推進、各町内会福祉会による活動
神湊地区	【神湊地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク(春)、ふれあいお楽しみバスハイク(秋)、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(22回)、理事・福祉協力員研修会、新役員研修
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業(5か所/21回)、【田野区サロン(2回)、玄海ニュータウンサロン(1回)、桜町サロン(1回)、公園通りサロン(2回)やまびこサロン(11回)池野地区サロン(4回)七夕会、クリスマス会、ひなまつり、新春会】ひとり暮らし高齢者バスハイク、アオキ会ボランティア研修、小地域見守りネットワーク活動
岬地区	【岬地区福祉会】	ふれあいバスハイク、ひとり暮らし高齢者訪問(日常生活支援プレゼント配布)、介護予防いきいき交流会事業(3か所/3回)、ふれあいクリスマス会、役員研修会

田島地区	【田島地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク(春)、ふれあいお楽しみバスハイク(秋)、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会(12回)、委員研修会、新役員研修
大島地区	【大島地区福祉会】	葬祭用具貸出し事業、各区対抗スポーツ大会、敬老会、新成人式を祝う会、山笠・盆踊りまつり支援

②地域ネットワーク活動の充実（各福祉会の取り組み参照）

- 事業説明：小地域ネットワーク活動とは、民生委員児童委員と福祉会の地域ケア型ボランティア、シニアクラブや地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う活動。

（2）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

①介護予防いきいき交流会事業

- 事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「いきいきふれあいサロン活動」を活用し、さらに介護予防の内容を充実させた事業を行っている。なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「大島DEいきいき元気教室」も含まれる。
- 事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。
- 運営体制：市から本会への委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、協力、調整などを行っている。

地区ごとの実施状況	開催箇所 (単位：ヶ所)	開催回数 (単位：回)	栄養指導 (単位：回)	口腔ケア (単位：回)	運動指導 (単位：回)
吉武地区	9	9	6	2	2
赤間地区	9	60	3	2	5
赤間西地区	10	65	7	3	5
自由ヶ丘地区	10	50	1	1	3
日の里地区	12	55	0	3	1
南郷地区	12	58	7	2	8
河東地区	9	27	4	0	5
東郷地区	10	57	7	2	6
池野地区	5	21	4	1	4
田島地区	2	12	0	0	1
神湊地区	3	22	1	3	2
岬地区	4	3	1	0	0
大島地区	4	12	0	0	0
合計	99	451	41	19	42

- 事業実績：●延べ参加者数：8,680人（65歳以上）・1,229人（64歳以下）
●延べ従事者数：4,438人
●合計：14,347人

②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

- 事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に研修会を開催。
- 実施期日：平成28年7月15日（金）13:00～16:00
- 実施場所：メイトム宗像 多目的ホール

■活動内容：講演、レクリエーション実践の2部構成で研修会を実施。

◇講演会Ⅰ 「地域での支え合いを推進する居場所の重要性」

講師 公益財団法人 さわやか福祉財団 九州1ブロックさわやかインストラクター
NPO 法人市民生活センター ふくしの家 理事長 江口陽介 氏

◇講演会Ⅱ 「サロンで活用できるレクリエーション ～ ミュージック・ケア ～ 」

講師 ミュージック・ケア指導者 音楽療法士 本田美子 氏

参加者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		130 人	211 人

③地島ミニデイサービス事業の改善と適切な運営

■事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回健康チェックを実施している。

■実施場所：地島白浜公民館および泊公民館、地島ふれあい館（泊）

実施時期	参加者数	主な活動内容
5月18日	6人	内 容：体力測定、貯筋体操（よつづか）
6月15日	6人	内 容：体力測定、転倒予防について講話、貯筋体操(よつづか)
7月6日	5人	内 容：健康講話「おいしく食べて力持ち」、貯筋体操（よつづか）
9月28日	6人	内 容：健康講話「身になる医者の話」、貯筋体操（よつづか）
10月30日	5人	内 容：医師会「よつづか」で長寿を祝う会に参加、買物(よつづか)
11月30日	5人	内 容：健康講話「生活不活発病の予防」、貯筋体操（よつづか）
2月9日	6人	内 容：楽しく身体をストレッチ&運動（アクアドーム運動指導士）

④大島 DE いきいき元気教室の適切な運営

■事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。

■実施場所：大島ふれあいセンター、大島地区コミュニティセンター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月21日	18人	体力測定、リハビリ体操、お手玉投げ、悠々体操
5月26日	27人	体力測定、口腔ケア、貯筋体操（よつづか）
6月16日	21人	パターゴルフ、悠々体操
6月28日	26人	健康講話「健康寿命を延ばすイキイキ暮らし」、貯筋体操(よつづか)
8月26日	26人	健康講話「おいしく食べて力持ち part2」、貯筋体操（よつづか）
9月15日	19人	体力測定、マグネット使用の数獲得ゲーム、悠々体操
10月27日	31人	健康講話「高齢者の皮膚のケアについて」、貯筋体操（よつづか）
11月17日	22人	リハビリ体操、ペットボトルボウリング大会、悠々体操
12月20日	26人	健康講話「生活不活発病の予防」「インフルエンザ・風邪予防」、貯筋体操（よつづか）
1月19日	18人	オセロゲーム、悠々体操
2月23日	28人	健康講話「認知症予防と対応」、認知症予防運動「コグニサイズ」、貯筋体操（よつづか）
3月16日	14人	リハビリ体操、魚の名前当てゲーム、お手玉、パターゴルフ、悠々体操、表彰状・プレゼント渡し

(3) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

■事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年設置。各地区福祉会の会長、事務局長等、代表2名で構成している。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会（総会）	5月31日	①平成27年度事業報告・決算報告及び監査報告について

		②副会長の選任について ③平成 28 年度事業計画・予算について
先進地視察研修	9 月 27 日～28 日	研修先：大分県玖珠町社会福祉協議会 研修内容：①玖珠町の概要について②支えあいマップを活用した小地域ネットワーク活動等について・他
第 1 回 情報交換会	6 月 27 日	■第 1 部：学習会 テーマ：介護予防・日常生活支援総合事業と福祉活動について ■第 2 部：情報交換会 テーマ：①介護予防・日常生活支援総合事業と福祉活動について②熊本地震義援金について③先進地視察研修について
理事研修会	1 月 20 日	講 師：池本賢一氏（鞍手町社会福祉協議会主任社会福祉士） 主 題：鞍手町における支え合いマップの取り組み 内 容：①鞍手町について②なぜ支え合いマップなのか③鞍手町の実践紹介④質疑応答
第 2 回 情報交換会	9 月 28 日	先進地視察研修 2 日目に実施 テーマ：①玖珠町（社会福祉協議会）の研修の感想や意見②先進地視察研修の継続について③熊本地震義援金について④ボランティア入門講座について⑤認知症サポーターステップアップ講座について・他
熊本地震義援金 募金活動	9 月～2 月	募金実績：202,760 円 ※福岡県共同募金会宗像市支会を通じて熊本県共同募金会へ送金

（４）宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

■事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働して小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金、その他多くの地域福祉活動を推進している。

■宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 26 度	平成 27 年度	平成 28 年度
	299,000 円	299,000 円	299,000 円

（５）宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進している。

■宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 26 度	平成 27 年度	平成 28 年度
	512,000 円	512,000 円	512,000 円

（６）福祉バス貸出事業の適切な実施

■事業説明：研修や社会参加活動のため、福祉バスの貸出を行った。

貸出件数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	104 件	116 件	126 件

（７）ライフサポート事業の実施

①ライフサポート事業（地域福祉権利擁護事業）

■事業説明：本会の独自事業として、高齢者や精神障がいがある人、知的障がいがある人などで、判断能力が不十分な人の権利を擁護し、自分の意思に基づいて安心した生活を送る

ことができるよう支援する事業を平成 25 年 8 月 1 日から実施している。
 本事業利用の可否等を審査する「運営審議会」の開催、また生活保護者を主とした
 県社会福祉協議会実施主体の「日常生活自立支援事業」もあわせて実施している。

- 支援内容：①生活支援サービス…定期訪問による見守り、郵便物の管理 等
 ②生活費管理サービス…福祉サービス利用援助、日常必要な預貯金の出し入れ等
 ③通帳等預かりサービス…預貯金通帳の保管や管理 等

■職員体制：生活支援員 6 人（うち 5 人は兼務）、市民生活支援員 10 人登録

■ライフサポート事業利用実績 【毎年 3 月末現在の利用者数】

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	12 人	4 人	8 人	-4 人	11 人	+3 人
知的障害者	11 人	2 人	9 人	-2 人	8 人	-1 人
精神障害者	8 人	4 人	4 人	-4 人	4 人	
その他	2 人	1 人	1 人	-1 人	2 人	+1 人
合計	33 人	11 人	22 人	-11 人	25 人	+3 人

■ライフサポート事業利用内容

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	実績	前年比較	実績	実績	実績	前年比較
生活支援サービス	33 人	11 人	22 人	-11 人	25 人	+3 人
生活費管理サービス	23 人	5 人	18 人	-5 人	22 人	+4 人
通帳等預かりサービス	21 人	5 人	16 人	-5 人	16 人	

※日常生活自立支援事業利用実績（県社会福祉協議会委託事業）

項目	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	実績	前年比較	実績	前年比較	実績	前年比較
高齢者	5 人	-2 人	7 人	-2 人	5 人	-2 人
知的障害者	2 人	-4 人	6 人	-6 人	2 人	-4 人
精神障害者	3 人	1 人	2 人		3 人	+1 人
その他	0 人	0 人	0 人		0 人	
合計	10 人	-5 人	15 人	-8 人	10 人	-5 人

②運営審議会の開催

■審議委員：弁護士、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（健康増進課精神保健係長）、宗像市役所（健康課保健福祉政策係長、福祉課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括支援センター職員）、精神保健福祉士（宗像病院/相談員） 計 6 人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
第 16 回審議会	平成 28 年 6 月 28 日	内 容：①委嘱状の交付 ②契約状況について ③審議 審議人数：1 人（新規：1601）
第 17 回審議会	平成 29 年 2 月 23 日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：2 人（新規：1602・1603）

③その他の活動

項目	実施時期	主な内容
ケース会議	月 1 回	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報の共有化の ための会議を毎月行いました。 事例検討：個別ケースの事例に基づく検討会を実施 ■28 年度より(2 ヶ月に 1 回)実施
福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(初任者編)	7 月 12 日	内 容：生活支援員の援助活動の実際について 活動報告【那珂川町社協管内・田川市社協管内】 場 所：クローバープラザ 参加者：社協職員 1 人

福岡県日常生活自立支援事業生活支援員研修会(実務者編)	12月7日	内 容：日常生活自立支援事業における認知症高齢者の生活支援について 講 師：九州ルーテル学院大学 准教授 西章男氏 場 所：クローバープラザ 参加者：社協職員3人・市民支援員5人
福岡県日常生活自立支援事業専門員研修会	10月31日	内 容：「事例検討会の必要性を考える」～なぜ、「気づきの事例検討会」を推奨するのか?! 講 師：兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松真人氏 場 所：クローバープラザ 参加者：社協職員3人

(8) 心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談は、近年多様化している。そのため、他相談機関とも連携を図っている。主に法律、財産、離婚、家族関係等の相談が全体の約7割を占めている。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っている。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3人 ■相談件数合計：456件 ■利用者数：146人

■相談件数及び相談内容

内 容		人 権 法 律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	平成26年度	113	106	84	43	36	35	8	5	2	8	11	29	480
	平成27年度	114	91	101	46	52	41	4	20	5	8	9	25	516
	平成28年度	96	74	85	38	48	40	0	28	2	5	30	10	456

(9) 災害援助ボランティア活動における協力・連携

■事業説明：宗像青年会議所と宗像市・福津市・古賀市社会福祉協議会との災害時相互協力協定に基づき、宗像青年会議所主導による防災イベント「宗像から未来へつなぐ～地域防災リーダーをめざして」の実施に協力した。

■場 所：JA むなかた・大ホール

■期 日：平成28年6月11日

(10) 宗像市遺族会連合会活動への助成

■事業説明：宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付を行っている。

■宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成26度	平成27年度	平成28年度
	1,099,000円	1,099,000円	1,099,000円

4 広報広聴活動の推進

(1) 社協だよりの発行

■事業説明：市広報紙タウンプレスむなかたを利用して年6回（偶数月の1日号）発行。市民に地域福祉や本会活動についての理解と啓発を図っている。

実施時期	記事の内容
■第163号 4月1日発行 (2項)	シリーズ⑦オープンカフェひまわり in 赤馬館、在宅介護者1泊リフレッシュセミナー参加者募集、ボランティアセンター通信（おもちゃ図書館30周年記念イベント報告、手話講習会受講者募集・ボランティア活動保険加入受付のお知らせ・V-net 登録・更新のお知らせ）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）チャリティボウリング大会お礼、他
■第164号 6月1日発行 (2項)	平成28年度社会福祉協議会事業計画・予算、イオン黄色いレシートキャンペーン、社会福祉協議会 facebook 紹介、ボランティアセンター通信（手話講習会受講者募集）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集）、寄付謝礼（宗像ふれあい市）他
■第165号 8月1日発行 (2項)	認知症サポーター養成講座参加者募集、地域福祉文庫講演会参加者募集、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）、平成27年度社会福祉協議会決算報告、福岡県ねりんスポーツ・文化祭開催のお知らせ、ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール参加者募集・おもちゃ図書館休館日・福祉ボランティアにじいろぼけっと紹介）、熊本地震支援金謝礼、他
■第166号 10月1日発行 (3項)	共同募金協力のお願い（前年度実績額、使いみち、計画募金、目標額、目安額、支えられている募金、災害等準備金積立、実績額の推移）共同募金配分団体紹介「宗像市母子寡婦福祉会」、ボランティアセンター通信（ジュニアボランティアスクール報告・ボランティア入門講座参加者募集）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業参加者募集）、参加者募集（在宅介護者1泊リフレッシュセミナー・地域福祉文庫講演会・認知症サポーターステップアップ講座・ひとり親家庭バスハイク、県民介護講座）他
■第167号 12月1日発行 (2項)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、歳末募金協力依頼、宗像市あゆみの会1泊リフレッシュセミナー参加者募集、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式、ボランティアセンター通信（おもちゃ図書館休館日・ボランティアネットワーク案内）、障害者生活支援センター（ピアサポート事業報告）、熊本地震支援金謝礼、他、
■第168号 2月1日発行 (3項)	歳末募金謝礼及び寄付者名簿、チャリティボウリング大会参加者募集、寄付謝礼（藤島部屋・くりえいと宗像さくら会・宗像手をつなぐ会・岡垣第一幼稚園）のぞみ園年長児交流会報告、ボランティアセンター通信（福祉ボランティア養成講座参加者募集・ボランティア入門講座報告・ボランティア活動保険額改定のお知らせ）赤い羽根共同募金謝礼（河東地区福祉会・宗像楽謡会・大島中街頭募金隊）、障害者生活支援センター（障害者虐待防止研修会）、他

(2) 本会ホームページの管理・運営

①ホームページの管理・運営

■事業説明：インターネットを利用して市内外の人々に24時間体制で情報を提供するとともに、「社協だより」や「ボランティアセンターだより」、また本会の各種計画や地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を図っている。

■実施内容：本会ホームページの管理・運営を行った。「バナー」広告に関しては、空きがないように努め、全区画ご利用いただいている。なお、平成25年度よりアクセスログイン数については、より正確な数値を得るため、集計方法を改めた（高機能なアクセスログ解析ツールである「グーグルアナリティクス」に変更した）。

アクセス ログイン数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	33,464 件	33,516 件	33,816 件
	119.2%	100.2%	100.9%

② 本会フェイスブックページの開設

■ 事業説明：平成 28 年度から本会的にフェイスブックの開設と運営を行った。

5 高齢者福祉事業の推進

(1) 宗像市在宅介護者支援事業(市委託事業)

■ 事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者に、より良い介護が継続できるように、介護研修やリフレッシュ事業を行った。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	12 月 7 日	講師：NPO 法人博多笑い塾 理事長 小ノ上マン太朗 氏 内容：心身疲労に効く笑薬のすすめ笑は心身の特効薬 場所：メイトム宗像 202 会議室 参加者数：30 人
一泊リフレッシュセミナー	6 月 7 日～8 日	訪問先：大村市・長崎市方面 宿泊先：長崎ホテル清風（長崎市大島町 523） 内容：滞在型リフレッシュ事業 参加者数：20 人
一日リフレッシュセミナー	11 月 2 日	訪問先：メモリアルホール いわ井（八女市江津 599） 内容：交流会型リフレッシュ事業 参加者数：24 人

(2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■ 事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者の当事者組織である「ひまわり」に、人的・金的支援を行った。

■ 宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	130,000 円	130,000 円	155,000 円

(3) 宗像市シニアクラブ連合会と連携・支援

■ 事業説明：宗像市シニアクラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進した。

■ 宗像市シニアクラブ連合会への活動費補助金の交付

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
512,000 円	512,000 円	512,000 円

(4) 鍼灸治療費補助事業

■ 事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者に限り鍼灸治療費の一部を補助。平成 20 年度より後期高齢者医療被保険者についても市の委託事業として本会で一部補助を開始した。

■ 鍼・灸治療費の助成内容：一回につき 500 円、月 5 回まで

鍼灸延べ 利用件数	保険種別	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	社会保険被保険者	870 件	1,033 件	1,053 件
	後期高齢者医療被保険者	3,102 件	2,598 件	2,681 件

(5) 認知症サポーター養成講座事業

① 認知症サポーター養成講座

■事業説明：平成 25 年度から宗像市より受託したこの講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちの創造を目指した。また平成 26 年度からは、宗像市が開始した「福岡都市圏徘徊高齢者捜してメール」の「協力サポーター」の登録推進についても認知症サポーター養成講座開催時に毎回参加者に登録協力を呼びかけた。

■実施方法：本会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催した。

■事業実績：

項目／年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
実施回数	34 回	33 回	42 回
受講者数	1,317 人	1,341 人	1,912 人

② 認知症サポーターステップアップ講座

■事業説明：平成 26 年度から宗像市より受託したこの講座は、「認知症サポーター養成講座」を修了した人が復習も兼ねて学習する機会を設け、より上級な講座など、地域や職域の実情に応じた取り組みを推進するための講座。

■事業実績：

項目／年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
実施回数	1 回	5 回	2 回
受講者数	24 人	302 人	38 人

(6) 給食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で高齢者への「ふれあい型給食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行った。

助成額	団体名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	浜ゆうの会	144,780 円	137,800 円	137,400 円
じょうもんさん会	55,220 円	62,200 円	62,600 円	

6 障がい児者福祉事業の推進

(1) 車イス貸与事業

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

延べ利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	215 件	196 件	215 件

(2) 障がい児者福祉団体活動への支援

① 宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	300,000 円	200,000 円	225,000 円

② 宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	693,000 円	693,000 円	693,000 円

③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がい者とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		65,000 円	65,000 円

④宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障がいがある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ活動費補助金を交付。

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		400,000 円	400,000 円

⑤パソコンクラブへの支援

■内 容：障がい者で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本とともに生きる感想文集のデジタル化（パソコン入力）を毎年依頼している。

委託金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		25,400 円	26,200 円

(3) 障がい者等への情報配信事業

①手話講習会事業

■事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、「聴覚障がい」と聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業。

■会 場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像 ●金曜コース…玄海地区コミセン

■講習会日時：●火曜コース…19時から21時、金曜コース…13時30分から15時30分
●土曜コース…13時から15時

■運営委託：①手話サークル「シュワッチ」 ②玄海手話サークル「ゆび」

活動実績	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	38 回	482 人	38 回	470 人	38 回	736 人
金曜	40 回	424 人	40 回	316 人	38 回	347 人
土曜	36 回	1,488 人	38 回	1,522 人	36 回	1,194 人
合計	114 回	2,394 人	116 回	2,308 人	112 回	2,277 人

②声の広報配布事業

■事業説明：視覚に障害がある市民へ、市や地域の情報を届けるため、毎月2回宗像市広報「むなかたタウンプレス」（1日・15日号）等を音訳、デジタル録音したCD-Rやカセットテープ等に録音し、配布する事業。

■委託団体：日の里テープの会・日の里いずみの会・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		22 人	18 人

③要約筆記ボランティア事業

■事業説明：要約筆記活動を軸に、聴覚・言語・音声機能などの障がいのために意思疎通を図ることに支障がある人に対するボランティア活動。過去、本会が実施した福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」受講者を中心に、平成25年度ボランティア団体「暖歩（ダンボ）」を発会し、今年度も定期的な活動を実施した。

■活動内容

実施日	場 所	主な活動内容
毎月1回開催	メイトム宗像	定例会及び学習会、講演会等での要約筆記協力 ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習 ●ノートテイク活動

(4) おもちゃ図書館の運営

■事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」等の療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設。おもちゃの貸し出しも実施した。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託した。さらに、市内小学校特別支援学校などに「出張おもちゃ図書館」や通信紙「たんぽぽ通信」も実施、発行した。-

■開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F

■開館日時：毎週木曜日 14：00～17：00・第2・4土曜日 14：00～16：00

■運営委託：宗像おもちゃライブラリー

活動実績	項目/年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	制作点数	16 点	12 点	19 点
	貸出し件数	618 件	822 件	824 件
	延べ利用入館者数	446 人	883 人	794 人
	出張・臨時おもちゃ図書館	6 回	5 回	3 回

■出張・臨時おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し出張訪問などで対応する。

日程	訪問先	参加者数
8 月 3 日	宗像地区手をつなぐ会レクリエーション	30 人
11 月 15 日	河東小学校ひまわり学級交流会	20 人
平成 29 年 1 月 18 日	日の里西小、日の里東小合同交流会（日の里東小学校）	26 人
合計		3 回 76 人

(5) 車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢または障がいのある車イス利用者が、地域の行事などの社会参加や通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出す事業。

活動実績	項目/年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	利用登録数	個人	20 人	12 人	14 人
		団体	1 団体	1 団体	1 団体
		スロープカー	25 回	23 回	23 回

7 低所得者福祉事業の推進

(1) 生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

①生活福祉資金貸付・償還事務の適切な実施

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や生活意欲の助長を促進し、安定した生活を営めるようにするための資金貸付制度。平成 21 年度には、世界的長期経済金融情勢の悪化に伴い、日本においても多くの非正規労働者などが雇用や住居を失う事態となったため、この制度が大きく改正され、失業者への再就職支援、生活や住居維持の総合的な支援ができる「総合支援資金」が新設された。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や高校卒業を支援する「教育支援資金」や生活保護受給までのつなぎとしての「緊急小口資金」などがある。

貸付実績	項目/年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	教育支援資金	19 件	28 件	32 件
	福祉費	9 件	5 件	3 件
	緊急小口資金	24 件	29 件	33 件
	臨時特例つなぎ資金	0 件	0 件	0 件
	総合支援資金	2 件	2 件	2 件
	合計	54 件	64 件	70 件

②「生活困窮者支援制度」による支援事業との連携

■事業説明：宗像市福祉課が行う支援調整会議へ出席し、貸付等について協議を行うことで「生活困窮者支援制度」と、社会福祉協議会が行っている「生活福祉資金貸付事業」との連携を図った。

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

①歳末たすけあい募金配分委員会

■事業説明：集まった募金について、募金配分先や金額等を協議する会議。

実施日	場 所	主な内容
12月21日	メイトム宗像 202 会議室	配分委員会において平成 28 年度募金実績額の報告及び平成 28 年度募金配分計画等について協議・決定を行った。

②歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組んだ。

■実施内容：民生委員・児童委員が商店や企業などを訪問して歳末募金を行い、福祉団体等や生活困窮者、各福祉会へ募金の配分を行った。

■実施期間：11月1日～12月31日

活動実績	項目／年度		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	募 金	実 績 額	2,489,783 円	2,360,949 円	2,299,506 円
配 分 金 額	生活困窮者世帯 【 世帯数 】	60,000 円 【12 世帯】	35,000 円 【7 世帯】	30,000 円 【6 世帯】	
	※福祉団体等	584,000 円	619,000 円	657,000 円	
	地区福祉会	1,845,000 円	1,706,000 円	1,122,000 円	
	共同募金へ繰入	783 円	949 円	506 円	

※福祉団体等：子育てサロン・子育てサークル、福祉団体、ボランティアグループ

8 子育て子育ち・母子寡婦福祉支援事業の推進

(1) 子育て・子育ち支援事業の充実

①こねっと活動助成支援

■助成内容：子育て支援事業の重要性に鑑み、平成 26 年度より NPO 法人 むなかた子育てネットワークこねっとへの活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	40,000 円	40,000 円	40,000 円

②子育てサロンや子育て支援団体活動への助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、配分を希望する子育てサロンや子育て支援団体へ活動資金の助成を行った。
※（ ）内の数字は助成団体数

補助金額	交付団体	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	子育てサロン	254,000 円 (9)	254,000 円 (9)	254,000 円 (9)
	子育て支援団体	150,000 円 (5)	150,000 円 (5)	150,000 円 (5)

③宗像市子育て関係機関連携会議への参加

■事業説明：宗像市が主催する子育て支援団体、児童関係機関の会議には、宗像市「子ども家庭課（子ども保健係、子ども家庭係）」「子ども育成課」「図書課」「コミュニティ・協働推進課」「男女共同参画推進課」「発達支援センター」「NPO 法人むなかた子育てネットワークこねっと」「主任児童委員代表」「秘書政策課」と本会が主に参加した。

■活動内容

事業名	実施時期	主な活動内容
第1回会議	7月11日	場 所：宗像市役所 内 容：①新担当者紹介 ②各団体の年間スケジュールについて

(2) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

- 事業説明：地域子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行った。現在では4文庫が活動を行っている。平成18年に、5つの文庫による連絡協議会を設立した。
- 活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員の研修会の実施を支援した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	10月24日	場 所：メイトム宗像 202 会議室 演 題：むかし むかし あるところに… ～昔話は子どもを育てる～ 講 師：きりん文庫 かすが 徳永 明子 氏 内 容：昔話の魅力について

- 助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	235,000円	215,000円	215,000円

(3) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

- 事業説明：母子家庭の母親の就労支援や子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会活動への支援・協力を実施
- 活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付、事業の活動支援等を行った。
- 活動支援の内容

実施時期	実施事業	主な活動内容
11月12日	一日バスハイクへの支援	訪問先：下関市立しものせき水族館 海響館 参加者：17人 支援内容：事業に関する連絡調整や参加者の募集、事業の進行や安全管理等について協力を行った。
2月に1回程度	サロン活動等支援	実施回数：3回 のべ参加者：103人 支援内容：会員親子の交流と新規会員確保のための川遊び、クリスマス会等の実施に関する協力を行った。

9 福祉教育の推進

(1) 福祉教育推進校（園）指定事業の実施

①福祉教育推進校（園）の指定

- 事業説明：平成18年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を推進・強化した。

指定校（園）数	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園	■福祉教育推進校 ①幼稚園（推薦園）2園

②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 【計：28校・園】	②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 【計：28校・園】	②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 【計：28校・園】
--	--	--

②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援した。

■実施校数：保育園1園+小学校12校+中学校2校+高校2校

■支援回数：保育園1回(日)+小学校116回(日)+中学校2回(日)高校8日

対象者数	学校/学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	職員	計	
	保育園	—	—	—	—	—	—	17人	17人	
	小学校	35人	34人	561人	948人	463人	486人		2,527人	
	中学校	0人	0人	355人					355人	
	高校	294人	322人	0人					616人	
	平成28年度 合計									3,515人
	平成27年度 合計									2,531人
平成26年度 合計									2,141人	

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
浄徳寺幼稚園	職員 (17人)	■実施日：3月24日 ■主な内容：高齢者疑似体験
吉武小学校	3年生 (22人)	■実施日：10月17日、10月21日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・「伝えること」についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (19人)	■実施日：10月7日・19日・24日・11月9日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：ガイド・アイマスク・点字体験、視覚障がい者との交流
	5年生 (13人)	■実施日：6月23日・29日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (16人)	■実施日：1月17日・18日・25日 ■主な協力者：地域の高齢者、保護者 ■主な内容：高齢者疑似体験、高齢者へのインタビュー、高齢化率などの講話、認知症サポーター養成講座
赤間小学校	4年生 (151人)	■実施日：6月20日、21日、22日、23日、27日 ■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者 ■主な内容：ガイド・アイマスク体験、点字体験、視覚障がい者との交流
	5年生 (179人)	■実施日：6月16日、17日、18日、30日 ■主な協力者：車いす利用者、保護者 ■主な内容：車いす体験学習、車いす利用者との交流
	6年生 (143人)	■実施日：6月29日、30日、7月8日 ■主な協力者：保護者 ■主な内容：高齢者疑似体験、認知症サポーター養成講座

自由ヶ丘小学校	3年生 (87人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：1月17日、23日、27日、2月10日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：聴覚障がい者の方との交流会/「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・質疑応答・手話体験(グループ学習)・学習発表報告
	4年生 (86人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月31日、11月21日・12月2日・14日 ■主な協力者：ガイドボランティア「アイフレンド」・点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者 ■主な内容：(児童・保護者)アイマスク体験(1回)・点字体験(1回)・視覚障がい者との交流(2回)
	5年生 (90人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月7・14・17・18・21日 ■主な協力者：自由ヶ丘地区福祉役員と福祉委員・保護者 ■主な内容：宗像市や自由ヶ丘地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・福祉会の役割や活動について知る・認知症サポーター養成研修
	6年生 (90人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月21日 ■主な協力者：自由ヶ丘地区福祉役員・高齢者の会 ■主な内容：高齢者との交流会 ～昔の生活の様子や生活の知恵、高齢者の子供の頃のお話し～
自由ヶ丘南 小学校	3年生 (75人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月3日 ■主な協力者：手話サークル「シュワッチ」・聴覚障がい者 ■主な内容：「聞こえない・聞こえづらいということ」、聴覚障害の方への伝える方法についてのお話し・聴覚障がい者との交流・手話体験
	4年生 (77人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：11月18日、22日・25日・30日・12月5日 ■主な協力者：ガイドボランティア「アイフレンド」・点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者 ■主な内容：(児童・保護者)アイマスク体験(各1回)・点字体験(2回)・視覚障がい者との交流(2回)
赤間西小学校	3年生 (62人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月30日・10月17・24日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：伝える方法について・手話を使って歌をうたおう・聴覚障害者との交流・手話学習・なかよし集会/活動発表
	4年生 (84人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月15・21日・10月13・25日 ■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・ガイドボランティア「アイフレンド」・視覚障がい者 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)点字体験・学習したことの報告・交流会
	6年生 (74人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月18・27日・11月2・7・15・16・1月19日 ■主な協力者：赤間西地区福祉役員・地区内小地域福祉役員・地域ボランティア ■主な内容：赤間西地区の現状・高齢化に関する講話・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成講座・高齢者の地域の居場所への取材訪問・学習発表会
東郷小学校	3年生 (103人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月28日・11月4・18日・12月19日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・もこ体験・手話体験
	4年生 (116人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月6・14・19日・11月1日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験(児童及び保護者)点訳体験、視覚障がい者との交流会

南郷小学校	1年生 (35人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月6日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	2年生 (34人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月6日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験
	5年生 (33人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：2月27日 ■主な内容：車イス体験学習・障がいについて理解を深める学習
日の里西小学校	3年生 (53人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：10月3日・14日・11月16日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障がい者との交流・手話体験、学習活動発表
	4年生 (52人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月8日・14日・21日・10月7日・12日・27日 ■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」 ■主な内容：視覚障がい者との交流会・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)/基礎編・応用編・点字体験/基礎編・応用編・学習したことの報告・交流会
	5年生 (49人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：6月15日・22日 ■主な協力者：車いす利用者・保護者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (51人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：7月11日・9月5日・7日・12日・21日 ■主な協力者：日の里地区福祉会役員・保護者 ■主な内容：宗像市や日の里地区の現状について学ぶ・高齢者疑似体験・福祉会の役割や活動について知る・認知症サポーター養成研修
	3年生 (52人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：11月11日・21日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：もこ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障がい者との交流・手話体験(グループ学習)
河東小学校	3年生 (107人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月9日、10月7日 ■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験等
	4年生 (130人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：11月8日・15日・16日・17日・22日 ■主な協力者：視覚障がい者・点訳ボランティア「てんとうむし」、ガイドボランティア「アイフレンド」 ■主な内容：アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流会
	5年生 (99人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：6月10日・16日 ■主な協力者：車いす利用者 ■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会
	6年生 (112人)	<ul style="list-style-type: none"> ■実施日：9月9日・12日・15日・29日、10月11日・13日、11月5日 ■主な協力者：河東地区福祉会役員・地区内小地域福祉会役員・民生委員児童委員、保護者・地域の高齢者 ■主な内容：河東地区の現状・高齢化に関する講話、高齢者疑似体験、福祉会・民生委員児童委員についての講話・認知症サポーター養成講

		座、見守り訪問活動、河東っ子まつりへの招待
河東西小学校	4年生 (85人)	■実施日 ：9月14日・23日・10月4日・11日 ■主な協力者 ：視覚障がい者、点訳ボランティア「てんとうむし」、聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」 ■主な内容 ：点訳体験、視覚障がい者との交流会、聴覚障がい者との交流・手話体験等
玄海小学校	4年生 (21人)	■実施日 ：10月28日、11月10日・14日・18日、 ■主な協力者 ：視覚障がい者・朗読ボランティア「ふれあい玄海」・点訳ボランティア「ねむの会」・聴覚障がい者・手話サークル「ゆび」・保護者 ■主な内容 ：手話体験、聴覚障がい者との交流、アイマスク・ガイド体験、点訳体験、視覚障がい者との交流
城山中学校	3年生 (234人)	■実施日 ：2月17日 ■主な内容 ：認知症サポーター養成講座
中央中学校	3年生 (121人)	■実施日 ：1月14日 ■主な内容 ：認知症サポーター養成講座
東海大学附属福岡高等学校	1年生 (294人)	高校生ボランティアスクールのページを参照
宗像高等学校	2年生 (322人)	高校生ボランティアスクールのページを参照

③福祉教育推進校連絡会の実施

- 事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校による福祉教育推進校（園）の連絡会を2回開催した。

実施事業	実施日時	主な内容
第1回連絡会	■7月7日 ■メイトム宗像 202会議室	① 福祉体験学習のご案内 →福祉教育の申込等について ② 各園校の福祉教育の取組み報告 ③ 宗像市福祉教育セミナーの開催案内 ④ 福祉教育読本「ともに生きる」の活用依頼 ⑤ 福祉絵画コンクールの協力依頼 ⑥ ジュニアボランティアスクール開催案内・他
第2回連絡会	■2月16日 ■メイトム宗像 202会議室	① 福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ② 視覚障がいの理解を深める報告書類の事務手続きについて 福祉教育プログラムの目的および流れの説明 ガイドボランティア「アイフレンド」から報告 「メニューブック」の説明 ③ 福祉絵画コンクールおよび福祉教育読本「ともに生きる」感想文の作品集『ともだち』の配布

④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

- 事業説明：市内の小学5年生を対象に福祉読本「ともに生きる」を配布し、読后感想文を募集して、優秀な感想文には表彰を行った。優秀な作品は「市民活動交流館まつり」当日メインステージで表彰を行い、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開した。
- 活動内容：市子どもまつり(ユリックス)会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。
- 対象児童：市内全小学校 5年生
- 活用冊数：839冊（全5年児童）
- 応募数：89作品（30クラス）
- 表彰日：11月3日「市子どもまつり（ユリックス）」

⑤福祉絵画コンクールの開催

- 事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちやその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。
- 活動内容：市子どもまつり会場(ユリックス)にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品および参加賞を贈呈した。
- 応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童生徒
- 表彰期日：11月3日「市子どもまつり（ユリックス）」

参加作品総数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		344 作品	196 作品

(2) 地域福祉推進事業所職員研修協力事業

- 事業説明：地域の事業所が行う職員研修に「ノーマライゼーション」や「ボランティア」「地域福祉」「認知症」「見えにくい障がい」等の要素を付加した研修を行う場合に、福祉教育の観点から「地域福祉推進事業所」として研修を支援した。

実施事業	実施日時	主な内容
宅配123	6月21日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：11人 場 所：メイトム宗像 203 会議室
あいデイサービス（岬地区）	2月21日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：19人 場 所：岬地区コミセン
さわやか倶楽部さわやかむなかたのもり（自由ヶ丘地区）	11月16日	内 容：認知症サポーター養成講座 参加者：33人 場 所：さわやか倶楽部さわやかむなかたのもり
宗像市初任層職務支援研修	2月7日	■研修内容 ・身体、知的、精神、発達障がいなどに関する知識や、障害模擬体験、窓口対応等の具体的コミュニケーション方法等について。 ・ノーマライゼーションやソーシャルインクルージョン、障害者差別解消法の概念などについて。 参加者：宗像市役所入庁2・3年目の職員 35人 場 所：宗像市役所内会議室

(3) 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

- 事業説明：将来、社会福祉の専門職もしくは専門資格を取得することを目的として社会福祉の現場（本会）で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行った。

実習生 受入実績	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		<ul style="list-style-type: none"> ■福岡教育大学 4人 期間：10月3日～10月20日（実質12日間） ■西南学院大学 2人 期間：8月18日～9月19日（実質24日間） ■福岡県立大学 1人 期間：8月18日～8月22日（実質5日間） 	<ul style="list-style-type: none"> ■福岡教育大学 2人 期間：10月1日～10月19日（実質12日間） ■西南学院大学 3人 期間：8月11日～9月17日（実質24日間） ■福岡県立大学 1人 期間：8月11日～9月17日（実質24日間）

(4) 第12回宗像市福祉教育セミナーの開催

- 事業説明：福祉教育推進校（園）の先生や地域福祉の推進に関わる人に福祉教育への理解と、地域福祉への参画を推進するため、平成17年から標記セミナーを開催している。
- 事業内容：第12回の福祉教育セミナーのテーマは「福祉のまちづくりと福祉教育」。
学校と地域の連携による福祉教育を基盤に、子どもから高齢者まで様々な世代が一緒に学び合い、支え合う福祉のまちづくりをテーマとした講演と、地域で取り組む福祉教育の事例報告を実施した。
- 実施期日：平成28年8月25日（木） 10:00～12:00
- 実施場所：メイトム宗像 多目的ホール
- 実施内容：

項目	主な内容
講演	“福祉のまちづくりと福祉教育” 講師 福岡県立大学 人間社会学部社会福祉学科 准教授 村山浩一郎 氏
事例報告	①地域で取り組む福祉教育 “3世代をつなぐ 見守り活動をめざして!” 自由ヶ丘地区福祉会 会長 山本昌子 氏 ②視覚障がい者を理解する学習 当事者の立場から 高本スミ子 氏

■参加者数：

参加者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	414人	223人	233人

(5) ワクワク WORK の受け入れ

- 事業説明：福祉教育の一環として、市で取り組む「ワクワク WORK」の受け入れを行い、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、「赤い羽根共同募金運動」などについて学ぶ機会とし、最終日に学んだことを報告する報告会を実施した。
- 期間：9月12日（月）～16日（金）の5日間
- 内容：総務・福祉係に2人、のぞみ園に2人 計4人

10 活動財源の確保

(1) チャリティボウリング大会

- 事業説明：健康づくりとチャリティを目的としたボウリング大会。市内外の地域福祉推進事業所と市民によって支えられている。
- 期日：2月24日（金）
- 会場：宗像シティボウル（王丸）
- 協賛等：市内外の多くの事業所に賞品や資金の提供や宣伝活動、参加協力等を受けている。

事業実績	項目/年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	参加者	128人	130人	121人
	益金額	308,568円	317,650円	299,249円

(2) 共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

- 事業説明：自動販売機で飲料水等を買えば本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進した。
- 設置状況：設置場所 計12か所 設置台数 計16台

設置台数と実績額	項目/年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	合計	設置台数	2台	2台（設置） 1台（撤去）	0台
		金額	428,118円	723,924円	715,128円
		差異		295,806円	-8,796円

(3) 香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施

■事業説明：香典返しの寄付や一般の寄付などの受け入れを行った。30,000円以上の寄付者に感謝状を贈呈し、50,000円以上の場合は、初盆参りも実施した。

事業実績	項目／年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	感謝状贈呈数	38件	25件	24件
	香典返寄付金	134件(3,057,994円)	113件(2,488,000円)	109件(2,723,000円)
	一般寄付金	11件(459,778円)	11件(531,993円)	5件(276,323円)
	計	145件(3,517,772円)	124件(3,019,993円)	114件(2,999,323円)

(4) ファンドレイジング(資金調達)に関する事業の実施

①福祉機器貸出の有料化

- 貸与品：車イス(自走式・介助式)
- 対象者：高齢者や傷病者の介護など一時的に必要な人に貸出を行った。
- 料金等：運営協力費として1回500円
- 期間：1～30日間(原則として1回1ヵ月以内。ただし、更新2回まで可)
- 事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行った。

事業実績	項目／年度	平成27年度	平成27年度	平成28年度
	延べ利用件数	196件	196件	215件
	運営協力費	98,000円	98,000円	107,500円

②イオングループ黄色いレシート活動への参加

- 内容：イオングループ黄色いレシート活動に参加し、イオンモール福津の買い物客が黄色いレシートで投票した金額の1%相当額の現物寄附を受けた。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
寄附の内容	総計額	1,441,153円	1,135,933円	1,131,807円
	寄附金額	14,500円	11,300円	11,300円

11 ボランティア活動・市民活動の促進

(1) ボランティアセンター事業の適切な運営

① ボランティア登録事業の促進および V-net の効果的運営

ボランティア登録事業実績		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
ボランティア登録	提供個人	31 件	31 件	16 件
	提供団体	3 件	3 件	2 件
	依頼個人	2 件	0 件	2 件
	依頼団体	12 件	7 件	8 件
	依頼申込個人	47 件	56 件	55 件
	依頼申込団体	43 件	60 件	62 件
ボランティア活動状況	件数	365 件	416 件	401 件
	活動人数	1,966 人	2,094 人	2,005 人
	調整数	465 件	697 件	447 件
HP アクセス数	アクセス件数	2,840 件	2,309 件	2,266 件
センター利用状況	窓 口	2,228 件	2,002 件	2,047 件
	電 話	1,178 件	1,332 件	1,319 件
	合 計	3,406 件	3,334 件	3,366 件
	対前年比		97.9%	101%

■ ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健 医療	環境	観光	国際 交流	まちづ くり	子ども	学習	合計
個人 (人)	464 40.4%	70 6.1%	105 9.1%	103 9.0%	69 6.0%	80 7.0%	167 14.6%	89 7.8%	1,147
団体 (団体)	67 51.2%	7 5.3%	13 9.9%	5 3.8%	3 2.3%	8 6.1%	14 10.7%	14 10.7%	131

※ボランティア活動分野別登録状況は、V-net 開設時（平成 14 年 3 月）からの累計。

② 宗像市市民活動交流館の企画運営への協力

■ 事業説明：NPO、ボランティア団体の活動を支援および協働し、市民活動交流館の運営などについて協議や検討を行った。

■ 事業内容：毎月開催されたメイトム会議（市民活動交流館企画運営委員会）に出席した。

実施事業	実施時期	主な活動内容
メイトム会議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月第 4 火曜日 ■ メイトム宗像 	※17:30 開始

(2) ボランティア講座の開催

■ 事業内容：「防災」と「災害ボランティア」についての学習を 2 部構成で実施した。プログラム 1 では災害ボランティアの心がまえ、災害ボランティアセンターについて、被災者側がボランティア活動支援に上手に寄り添う「受援力」についても学んだ。プログラム 2 では熊本で実際に災害ボランティアとして被災地支援に携わった体験談を交え、被災者への配慮など気持ちに寄り添った支援について考えた。防災グッズ“マイホイッスル”制作をし、災害ボランティア活動中だけでなく、普段の身を守るためのアイテムとして活用してもらう。また、募集中のボランティア活動を紹介し、実活動につながる情報を提供した。

■ 実施期日：11 月 24 日（木）

■ 実施場所：メイトム宗像 202 会議室

■ 講師：福岡県社会福祉協議会 野間口 令氏、宗像青年会議所 池尾 拓氏

参加者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	20 人	20 人	22 人

②ジュニアボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づき、小学生と中学生を対象に、福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を実施しています。今年度は、低学年(バンビコース 小学1～3年とその保護者)と高学年(ピッコラコース 小学4年以上)のコースを設けました。

1) バンビコース

■事業内容：4月に発生した熊本地震を踏まえ防災学習に取り組みました。福岡市民防災センターにて、地震体験・消火体験など模擬体験や防災講話を受講しました。地震や火災、強風の怖さを知り、日頃から災害対策を取っておくことの大切さを振り返りの中で共有しました。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：バンビ）」に任命されました。

実施時期	内 容
■7月30日 ■福岡市民防災センター（福岡市）	<input type="checkbox"/> 防災について学ぼう（視聴覚学習・講話） <input type="checkbox"/> 強風体験 <input type="checkbox"/> 地震体験 <input type="checkbox"/> 消火体験 <input type="checkbox"/> 火災体験 <p style="text-align: right;">（以上、講師：福岡市消防局職員）</p>

2) ピッコラコース

■事業内容：「福祉」と「まちづくり」をテーマにして、地域やユニバーサルデザイン、災害模擬体験、防災に関して学びました。学習を通じ、支え合って、みんなにやさしいまちになるために誰今の自分にできることを考えました。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：ピッコラ）」に任命され、「他人を思いに耳を傾け、いっしょに考える人になっていこう」という目標を立てました。

■実施期日：バンビコース／7月30日

ピッコラコース／8月16・17・18日(合計3日間)

■実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、福岡市民防災センター（福岡市）、福岡市博物館（福岡市）

実施時期	内 容
■8月16日 ■メイトム宗像健診室 202会議室	<input type="checkbox"/> レッツ！レク （協力：宗像市レクリエーション協会） <input type="checkbox"/> 支え合うって、なんだろう？障がいがあるって、どんなこと？ <input type="checkbox"/> みんなにやさしいまちづくり（事前学習：ユニバーサルデザインと防災）
■8月17日 ■福岡市	<input type="checkbox"/> フィールドワークⅠ（防災学習）～福岡市民防災センター～ ●防災について学ぼう（視聴覚学習・講話・応急手当） ●強風体験 ●地震体験 ●消火体験 ●火災体験 <input type="checkbox"/> フィールドワークⅡ（歴史・ユニバーサルデザイン）～福岡市博物館～ ●オリエンテーション（福岡の歴史） ●ユニバーサルデザイン点検 ●常設展示見学とみたいけんラボ体験学習
■8月18日 ■メイトム宗像 202会議室	<input type="checkbox"/> ワークショップ ●災害図上訓練をやってみよう！ （講師：福岡県防災危機管理局消防防災指導課職員） <input type="checkbox"/> ふりかえり学習 ●グループワーク、プレゼンテーション

参加者数	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	14 人		バンビ	7 組	バンビ	14 組
			ピッコラ	13 人	ピッコラ	18 人

③高校生ボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、市内にある 2 高等学校を「推進校」を指定し、福祉教育を推進・強化しています。各高校の生徒、教諭を対象にしたボランティアスクールで、今できるボランティア活動、また将来経験を重ねて取り組む場合に予備知識となるような学習を実施しました。

■事業内容：

- ・今年度もノーマライゼーションの理念に基づく「共生」をテーマに、地域社会の課題を「自分たちの問題」としてとらえる学習内容に力を入れました。
- ・宗像高等学校では、教育課程「家庭基礎」の単元で「高齢者」について学んだ 2 年生を対象として、5 日間に渡り、認知症に対する理解を深める学習に取り組みました。
- ・東海大学附属福岡高等学校（現*）は、現代社会の様々な時事を取り上げている「現代文明論」の単元にて、社会課題のひとつ「認知症」について理解を深めました。3 日間に渡り、1 年生が「認知症サポーター養成講座」を受講しました。

参加者数	項目/年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	東海大学附属福岡高等学校	11 人	8 人	294 人
	宗像高等学校	309 人	307 人	322 人

【東海大学附属福岡高等学校】

実施時期	実施場所	内容
9 月 21・23・29 日	■東海大学附属 福岡高等学校	<input type="checkbox"/> 現代社会論 ●認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） （講師：宗像市社会福祉協議会職員）

【宗像高等学校】

実施時期	実施場所	内容
7 月 2・3・6・7・8・日	宗像高等学校	<input type="checkbox"/> 高齢者理解の学習 ●認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） （講師：宗像市社会福祉協議会職員）

④福祉ボランティア養成講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい、またはすでに活動しているが、他のボランティア活動も興味がある市内在住者などを対象に開催しました。

■事業内容：昨今、わが国の各制度見直しや生活課題を抱え、何らかの支援を必要としている人を地域で包括的に支え合っていく仕組みづくりが推進され、ボランティア活動に対する期待はますます高まっています。よって、今年度は、ボランティア活動の基礎になる「傾聴」と「予防ケア」に関する学習を実施しました。

■実施期日：3 月 1・2・7・8・9 日（合計 5 日間）

実施時期	実施場所	内容
3 月 1 日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> ボランティアと傾聴 ① ●傾聴の基本 ●セッション…自分を語る・聴く、気持ちに寄り添う （講師：社会福祉法人北九州いのちの電話 事務局長 川尻正之氏）
3 月 2 日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> 予防ケア ① ●セラピューティック・ケア ●ハンドマッサージ （講師：アロマクラブ 代表 門司早苗氏）

3月7日	福岡県地域介護 実習・普及セン ター	□実習 ●高齢者疑似体験 ●車いす体験 ●音楽レクリエーション (講師：福岡県地域介護実習・普及センター職員)
3月8日	メイトム宗像 202 会議室	□ボランティアと傾聴 ② ●傾聴の基本 ●セッション…自分を語る・聴く、気持ちに寄り添う (講師：社会福祉法人北九州いのちの電話 事務局長 川尻正之氏)
3月9日	メイトム宗像 202 会議室	□予防ケア ② ●アロマセラピーについて ●フェイスエクササイズ、フットマッサージ (講師：アロマクラブ 代表 門司早苗氏)

■参加者数：

参加者数	平成 26 年度		平成 27 年度	平成 28 年度
	傾聴	15 人	31 人	24 人
	癒し(美容)	10 人		

(3) ボランティア活動との連携・支援強化

①福祉ボランティア活動連絡協議会の育成・補助

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などへの助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。本会「福祉ボランティア養成講座」を経て結成されたグループが加入し、12 団体が所属している。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
役員会	毎月 2 回開催	※毎月最終週のいずれか平日：午後 6 時 30 分～
運営委員会	毎月 1 回開催	※毎月第 1 水曜：午後 7 時 30 分～
定期総会	4 月 23 日	場 所：メイトム宗像
全体研修	9 月 30 日	場 所：メイトム宗像 テーマ：子どもの貧困について 講 師：NPO 法人にじいろ CAP 代表理事 重永侑紀
役員研修	9 月 12 日	場 所：福岡県障害者リハビリテーションセンター テーマ：福岡県障害者リハビリテーションセンター 視察
	9 月 22 日	場 所：クローバープラザ テーマ：ボランティアスキルアップ研修 発信力のある広報づくり 講 師：九州コミュニティ研究所 理事長 耘野康臣氏

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援

補助金交付額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	510,000 円	460,000 円	510,000 円

②ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力

- 事業説明：県内で開催されるボランティア等のフェスティバル。現在は、「ふくおかボランティアのつどい」と「ふくおか子どもすくすくフェスタ」を統合して開催されています。
- 事業内容：ふくおか「きずな」フェスティバルに参加
 - 講演：生きがいを見つける人生
講師：川村 妙慶氏（真宗大谷派僧侶・アナウンサー）
 - ボランティア活動別分科会
- 実施期日：平成 29 年 2 月 19 日
- 実施場所：クローバープラザ（春日市）
- 参加者数：福祉ボランティア活動連絡協議会員 27 人

③ボランティア活動振興基金積立事業

- 事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を福祉ボランティア活動連絡協議会に助成した。

実績額	項目／年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	基金果実	2,810 円	6,435 円	2,810 円
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

④ボランティア保険加入補助

- 事業説明：V-net に登録している個人及び団体ボランティアや福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人 150 円を補助した。

合計補助金額	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	175,000 円	180,000 円	195,000 円

12 赤い羽根共同募金運動への協力

（1）共同募金への協力

■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催、当該年度の募金目標額や募金活動について審議、決定した。理事は、地区自治会長会代表 12 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会より 1 人、シニアクラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されている。

■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として募金活動を行った。

■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を行った。

年度実績		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
項目	■戸別募金	10,984,939 円	11,025,578 円	10,735,244 円
	■街頭募金	157,093 円	151,815 円	173,946 円
	■学校募金	125,336 円	160,019 円	172,675 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	680,006 円	700,872 円	650,732 円
	■イベント募金	98,058 円	120,617 円	130,438 円
	■個人募金、その他	174,880 円	178,120 円	195,434 円
	実績額合計	12,220,312 円	12,337,021 円	12,058,469 円
	対前年比		101.0%	97.7%

■配分実績

平成 28 年度募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市への配分先と配分金額は次のとおり。

	配分先	配分金額
■地域配分 (B 枠) 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に、申請に基づいて配分される。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行う事業費。	高齢者福祉に	1,201,000
	児童・青少年福祉に	1,225,722
	障がい児・者福祉に	2,192,000
	子育て支援活動に	534,000
	ボランティア活動に	534,000
	福祉会活動の支援に	2,793,000
	情報提供・啓発活動に	469,000

(2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

※7 低所得者福祉事業の推進 (2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分を参照。

13 障害者生活支援センター運営事業

■宗像市委託事業

(1) 障害者生活支援センター事業

■事業説明：基幹相談支援センターとして、市における相談支援の中核的な役割を担うとともに、宗像市に居住する障がい者に対し、障害福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

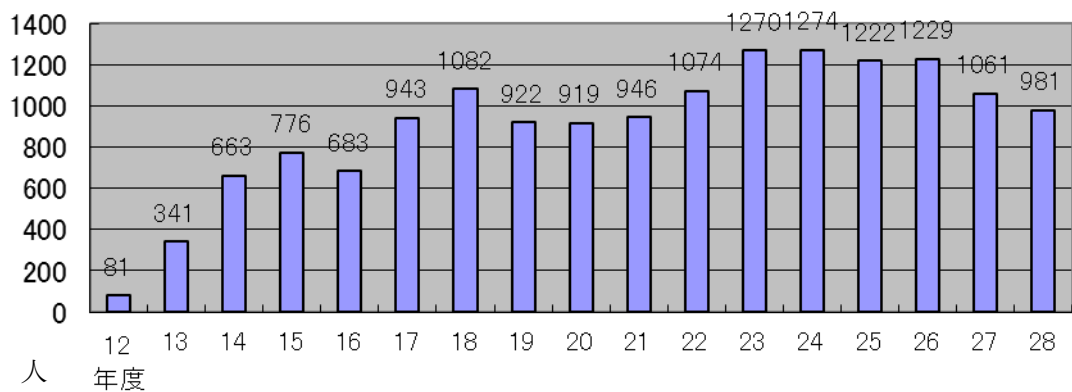
■事業内容：○基幹相談支援センターの充実
○自立支援協議会の充実
○地域の相談支援体制の強化
○地域移行・地域定着支援の推進
○障害者虐待防止センターの充実
○成年後見制度の利用促進
○障害者団体の組織化と自立支援
○ピアサポート機能の充実・強化
○登録手話通訳者等派遣事業の充実
○障害者差別解消法の啓発に関する取り組み

■職員体制：○センター長 1人
○相談員 3人
○ピアカウンセラー 6人

■開所日時：①月・火・水・木・金曜日 (8時30分～17時)
※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日
②ピアカウンセリング (10時～15時)
※水・木・金曜日

■センター利用状況・相談件数：981人

相談者実人数の年次推移



■相談実績件数①（区分別）

項目／月	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
①ホームヘルプサービス	388	361	363
②ガイドヘルプサービス	139	59	40
③地域活動支援センター・デイサービス	109	160	116
④ショートステイ	99	105	52
⑤ケアホーム・グループホーム等	144	152	183
⑥入所施設利用の援助	141	120	119
⑦通所施設利用の援助	575	500	465
⑧福祉機器の利用援助	126	46	33
⑨食事・調理に関すること	22	18	40
⑩サービス利用計画作成および介護相談	1,093	982	890
⑪権利擁護・生活安定面の支援	370	269	580
⑫申請代行その他保健・福祉・医療に関する支援	447	355	411
⑬情報機器等の利用援助	15	14	12
⑭コミュニケーションの支援	61	44	57
⑮移動・外出の支援	200	253	123
⑯住宅の紹介、改修の支援	77	114	78
⑰生活情報の提供	232	320	165
⑱障害者団体の紹介	17	10	4
⑲ボランティア NPO 等の紹介	9	15	7
⑳就労・就学に関する支援	472	548	459
㉑福祉資源形成の支援	30	9	13
㉒金銭管理の支援	185	274	350
㉓健康管理の支援	718	659	607
㉔講座・教室、余暇・趣味の紹介	75	91	45
㉕ピアサポートに関すること	94	79	42
㉖専門機関の紹介	171	133	173
㉗その他の必要な生活支援	1,291	940	1,030
計	7,300	6,630	6,457

■相談実績件数②（相談方法別）

項目／月	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
①来 所	677	776	1,211
②電 話	1,167	1,149	1,537
③文書（メール等）	82	49	73
④訪 問	767	870	892
⑤同 行	79	130	197
⑥個別支援会議	1,786	2,061	835
⑦関係機関	2,742	1,595	1,712
計	7,300	6,630	6,457

■障がい種別件数①（障がい者）

項目／月	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
①肢体不自由	952	612	669
②聴覚障害	131	381	209
③言語障害	3	56	17
④視覚障害	306	182	186
⑤内部障害	15	27	51
⑥発達障害	324	293	435
⑦高次脳機能障害	72	70	40
⑧知的障害	1,668	1,106	1,397
⑨精神障害	2,073	2,180	2,308
⑩重複障害	1,122	741	432
⑪不 明	160	199	126
⑫な し	33	113	91
計	6,859	5,960	5,961

■障がい種別件数②（障がい児）

項目／月	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 28 年度
①肢体不自由	130	193	97
②聴覚障害	0	0	0
③言語障害	0	0	0
④視覚障害	0	0	0
⑤内部障害	0	0	13
⑥発達障害	26	36	184
⑦高次脳機能障害	38	3	0
⑧知的障害	62	161	101
⑨精神障害	0	0	2
⑩重複障害	153	39	61
⑪不 明	3	4	34
⑫な し	7	5	4
計	419	441	496

(2) 障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

■事業説明：ピアサポーターと利用者が事業を通じた交流により、身近な相談相手としての周知を行うとともに、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。

■参加費：無料（実費負担あり）

■実施内容

実施日	内容	参加人数	場所
6月26日	カラオケを楽しもう	16	サウンドパーク宗像王丸店
11月13日	グラウンドゴルフを楽しもう	12	市民体育館横ゲートボール場
2月5日	そば打ち体験をしよう	9	正助ふるさと村

②ピアサポーターだより「すまいる」発行事業

- 事業説明：ピアサポーターの活動や障害者福祉サービス、市内の社会資源、ボランティア等の情報を当事者や市民、関係機関等に周知し、情報を共有することを目的に広報紙を発行。
- 発行回数：年3回
- 発行部数：720部
- 配布先：各障害者施設、当事者団体、関係機関等
- 実施内容：事業紹介、社会資源の情報、生活情報、ボランティア紹介、バリアフリー情報など

③パソコン勉強会

- 事業説明：当センターのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象にパソコンの勉強会を実施。
- 開催日時：第2・4火曜日（13:00～15:00）
- 開催場所：宗像市役所内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：31人

④手話勉強会

- 事業説明：当センターの聴覚障がいのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象に手話の勉強会を実施。
- 開催日時：第4木曜日（13:30～15:00）
- 開催場所：メイトム宗像内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：42人

(3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

■会議や研修への参加・協力

会議・研修名	実施時期
障害者自立支援協議会 本会議	5月24日、3月27日
障害者自立支援協議会 相談支援ネットワーク会議	6月29日、3月13日、12月15日
障害者自立支援協議会 生活部会（児童部会）	5月31日、10月20日、2月14日
障害者自立支援協議会 就労部会	6月29日、1月31日
障害者自立支援協議会 権利擁護部会	2月2日
障害者自立支援協議会 事務局会議	月1回開催
ピアサポーター会議	月2回開催
ネットワークふくおか（仮称）世話人会議	7月2日
福岡県集団指導	6月9日
岡垣町福祉課 基幹相談支援センターの視察受入	8月5日
玄海はまゆう学園職員研修対応	8月19日
福岡県相談支援従事者初任者研修	7月13日、7月14日、8月18日、9月27日、9月28日
精神障害者の地域移行に取り組むための実践研修	9月29日
福岡県障害者虐待防止・権利擁護研修会	10月14日、18日
地域自立支援協議会担当者会議	1月30日
第3回就労移行当事者セミナー	12月11日

宗像・遠賀地域精神障害者地域支援実務者会議	12月7日、2月24日
法人後見九州セミナー	12月9日
宗像・遠賀地域在宅医療推進協議会	2月16日
宗像市社会福祉協議会人権研修会	3月9日
福岡県知的障害者相談員研修会	2月25日
福岡県身体障害者相談員研修会	9月26日

(4) 宗像市登録手話通訳者等派遣事業

■事業説明：聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため他者との意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に対し、市が登録した手話通訳者または要約筆記者を派遣し、意思疎通の円滑化を図ることを目的に事業を実施。

■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	31	20	38

■派遣内容（件数）

項目／月	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 手続・相談	9	2	4
② 医療・保健	28	24	38
③ 就職活動	0	0	0
④ 教育	0	0	0
⑤ その他	1	0	11
計	38	26	53

■派遣区分（件数）

項目／月	平成26年度	平成27年度	平成28年度
① 手話通訳等	23	19	48
② 要約筆記等	15	8	5
計	38	27	53

(5) 宗像市障害者虐待防止センター事業

① 宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成24年度から宗像市の委託事業として受託。障害者虐待の早期発見と発生防止、ならびに障害者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障害者福祉サービス事業者への周知が主な役割。

項目		平成26年度	平成27年度	平成28年度
■ 対応件数	① 通報受理	11件	6件	11件
	② 事実確認実施	15件	12件	23件
	③ 虐待と判断	2件	0件	2件
	④ 相談・指導・助言	23件	4件	18件
実人数		11人	6人	13人※

※平成28年度実人数は、前年度からの事実確認を行った人数を含む。

② 家庭訪問等個別支援事業

■障害者虐待の未然防止のため、過去に虐待があった障害者の家庭等を訪問し家族関係の修復や不安の解消に向けた支援を行う。

■家庭訪問件数：5件

■人数：4人

③宗像市障害者虐待防止研修会の実施

- 事業説明：障がい者への虐待防止ならびに早期発見、適切な援助につなげるため、市内の相談支援事業所等を対象に障害者虐待防止法の理解と権利擁護への理解を深める研修を実施した。
- 実施日：平成28年12月8日※障害者週間
- 場所：メイトム宗像 202 会議室
- 参加者：市内の障害福祉事業所職員等 43 人
- 内容：「障害者虐待防止と障害者差別解消法～無意識の不適切行為の防止～」
- 講師：福岡県立大学 人間社会学部 講師（社会福祉士） 寺島 正博 氏

14 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■宗像市指定管理運営事業

(1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

- 事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け社会福祉協議会が運営している。
- 運営体制：●館長（兼任）1 人 ●事務員 1 人
- 大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一般	中学生以下	島外	計	対前年比較
平成28年度	1,301 人	218 人	44 人	120 人	1,683 人	-1,089 人
平成27年度	2,082 人	473 人	36 人	181 人	2,772 人	-83 人
平成26年度	2,089 人	528 人	42 人	196 人	2,855 人	

■利用施設別のべ利用者数

	1 階大広間	2 階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
平成28年度	1,645 人	4 人	46 人	1,120 人	2,815 人	-1,797 人
平成27年度	2,690 人	16 人	46 人	1,860 人	4,612 人	-147 人
平成26年度	2,708 人	79 人	88 人	1,884 人	4,759 人	

■施設利用料金実績ならびに施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1 階大広間 (円)	2 階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計	対前年比較
平成28年度	171 日	6,790 円	0 円	0 円	6,790 円	1,040 円
平成27年度	254 日	5,750 円	0 円	0 円	5,750 円	-1,820 円
平成26年度	256 日	7,570 円	0 円	0 円	7,570 円	

(2) 大島福祉センター「ふれ愛センター」健康・福祉ミニまつりの開催

- 実施日：7月2日（土）
- 内容：健康ミニ講座：「どんな時頼っていいの？東洋医学！」
身体測定コーナー、血圧測定、骨密度測定、テーピング指導、アロマオイルハンドマッサージ、物品ミニバザー
- 参加者：62 人

15 介護保険事業の適切な運営

(1) 訪問介護事業

■事業説明：介護保険利用者の訪問介護計画に基づき、自立支援を目標とした介護サービスの提供を行う。(介護予防訪問介護事業含む)

延べ利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	1,693 人	1,451 人	1,247 人
	対前年比較	-242 人	-204 人

新規利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	40 人	34 人	30 人
	対前年比較	-6 人	-4 人

要介護度別延べ利用者数 (単位:人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年比較
平成 28 年度	294	298	403	174	45	21	12	1,247	-204
平成 27 年度	379	433	402	188	3	33	13	1,451	-242
平成 26 年度	464	552	408	207	18	33	11	1,693	

■介護サービス種別サービス提供時間数

項目/月	生活援助	身体介護	身体生活	介護予防	計	対前年比較
平成 28 年度	3,403.5h	753.5h	268.0h	2,977.0h	7,412.0h	-989.0h
平成 27 年度	3,248.5h	875.0h	586.0h	3,691.5h	8,401.0h	-2,420.0h
平成 26 年度	4,440.0h	850.5h	838.0h	4,692.5h	10,821.0h	

(2) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成・管理・更新等を行い個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。(介護予防支援事業含む)

要介護度別延べ利用者数 (単位:人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年比較
平成 28 年度	174	272	986	735	253	188	116	2,724	61
平成 27 年度	176	388	875	709	221	193	101	2,663	-41
平成 26 年度	272	392	958	648	183	160	91	2,704	

【介護給付】 延べ利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	2,044 人	2,099 人	2,278 人
	対前年比較	55 人	179 人

【予防給付】 延べ利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	660 人	564 人	446 人
	対前年比較	-96 人	-118 人

新規利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	60 人	47 人	44 人
	対前年比較	-13 人	-3 人

16 指定障害サービス事業の適切な運営

(1) 居宅介護事業・同行援護事業

■事業説明：障がい者の介護、家事の支援や視覚障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	204 人	161 人	142 人
	対前年比較	-43 人	-19 人

サービス提供時間	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	1710.5h	1,228.0h	930.3h
	対前年比較	-482.5h	-297.7h

17 市受託事業の適切な運営

(1) 訪問型サービス A 事業

■事業説明：市が必要と認めた高齢者世帯と単身高齢者に対し、日常生活上の支援・指導を行う。

利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	37 人	32 人	12 人
	対前年比較	-5 人	-20 人

サービス提供時間	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	105.0h	82.5h	24.5h
	対前年比較	-22.5h	-58.0h

(2) 地域生活支援事業（移動支援）

■事業説明：障害者の外出支援を行う。

利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	48 人	44 人	34 人
	対前年比較	-4 人	-10 人

サービス提供時間	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	214.0h	248.5h	231.8h
	対前年比較	34.5h	-16.7h

(3) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス）

■事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいづくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクリエーションなどの活動を行う。

利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	250 人	241 人	229 人
	対前年比較	-9 人	-12 人

(4) 要介護認定調査業務

■事業説明：市から委託を受けて要介護認定調査を行う。

要介護認定調査件数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	2,769 件	2,191 件	2,112 件
	対前年比較	-578 件	-79 件

18 スマイルハート事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

延べ利用者数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	305 人	291 人	277 人
	対前年比較	-14 人	-14 人

サービス提供時間	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	1,752.0h	1,554.5h	1,131.5h
	対前年比較	-197.5h	-423.0h

19 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

(1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■事業説明：さまざまな障がいのある子ども達とその保護者を、通園の方法により療育を行い、支援していくことを目的として設置された施設。実施主体は宗像市で社会福祉協議会が受託・運営している。

- 事業内容：
- ・保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
 - ・作業療法士による機能訓練、感覚統合訓練や言語聴覚士によるコミュニケーション支援とともに、子どもに関する悩みをそれぞれの専門の先生方が聞き、相談に応じる。
 - ・水泳の指導を専門の指導員が週一回行う。(金曜日)
 - ・嘱託医による定期的な健診やカンファレンスにより子どもの発達を医学的な見地からみる。

■運営体制

①園長（兼任）：1人	②児童発達支援管理責任者：1人	③専任指導員：2人	④作業療法士：1人
⑤言語聴覚士：1人	⑥プール指導員：1人	⑦ 臨時指導員：3人	⑧ 託児スタッフ：6人
⑨相談支援専門員：1人	⑩嘱託医：1人		

(2) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業実績

①年齢別男女別障害別園児状況

年齢	男子	女子	障害区分								累計
			発達障害			知的障害	視覚障害	聴覚障害	重複障害	その他	
			ASD		未診断						
			知的有	知的無							
1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳	4	3	0	0	4	1	0	1	0	1	7
3歳	19	1	2	0	13	1	0	0	0	4	20
4歳	21	9	3	3	17	0	0	0	1	6	30
5歳	35	12	8	2	27	4	0	0	3	3	47
6歳	40	6	10	10	19	6	0	1	0	0	46
計	119	31	23	15	80	12	0	2	4	14	150

②年度・年齢別園児数

※単位：人

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
1 歳	1 人	2 人	0 人
2 歳	4 人	4 人	7 人
3 歳	15 人	15 人	20 人
4 歳	30 人	31 人	30 人
5 歳	29 人	30 人	47 人
6 歳	56 人	39 人	46 人
計	135 人	121 人	150 人

③ 園児数の推移

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
入園者数	48 人	52 人	74 人
退園者数	44 人	67 人	45 人

④ 療育日と人数の実績

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
療育日数	243 日	241 日	243 日
実績延人数	2,865 人	2,734 人	2,908 人
一日平均利用人数	11.8 人	11.3 人	11.9 人

⑤ 兄弟児託児状況

- 事業説明：親子通園は、保護者が子どもとしっかりと向き合い共に療育することを目的としている。よって利用者に兄弟児がいる場合は、兄弟児の託児保育を行っている。また勉強会・保護者会などに保護者が安心して参加・集中できるように兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は一回につき 500 円。

■利用状況

延べ利用人数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	369 人	310 人	166 人

⑥ 送迎利用状況

延べ利用回数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	344 回	123 回	120 回

(3) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」訓練等の状況

① 言語聴覚士の関わり

- 週 3 回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
個別検査・訓練	310 人	364 人	457 人
集団ことば遊び	17 回	14 回	14 回

② 作業療法士の関わり

- 週 1 回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
個別検査・訓練	156 人	151 人	191 人

③ 個別保育

延べ利用人数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
	507 人	472 人	438 人

④嘱託医の健診・ケースカンファレンス

実施時期	参加者数	主な活動内容
6月29日	3人	内容：ケースカンファレンス/健診
7月27日	4人	内容：嘱託医健診
9月28日	2人	内容：ケースカンファレンス
1月25日	3人	内容：嘱託医健診
2月22日	3人	内容：ケースカンファレンス

(4) ぼんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に2回程度開催。

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度
実施回数	17回	18回	18回
延べ利用人数	99人	148人	145人
兄弟児数	10人	49人	19人

(5) その他の取り組み

①児童発達支援事業に基づくのぞみ園の経営に関する検証

■実施内容

- 5月に児童発達支援事業所「わくわく」の視察研修を実施。県が運営する児童発達支援事業について、事業の考え方や運営内容について学んだ。
- 6月にサービス等利用計画作成における業務内容の見直しと確認等を行った。
- 8月に利用者の利用状況や療育内容についての評価見直しを行い、クラス編成と職員配置等の見直しを行った。
- 1月に平成30年の総合支援法及び児童福祉法改正を見据えた本事業の取り組み(平成20年からの)について、評価等の自己点検を行った。

②保育所、幼稚園、小学校への訪問等による支援の取組み

■事業説明：3月～5月にかけて、入園や入学後の園や学校生活が円滑に行えるために、各園や学校との情報交換を実施。

■実施内容：6月、10月、2月の個人面談での聞き取りの中から、保護者からの訪問支援や情報交換に関する要望により各保育所及び幼稚園への訪問と情報交換を行った。また、春休み期間を利用し、学校への情報交換を行った。その他に、各園からの要望に応じて随時電話等により情報交換を行った。

③職員の資質向上に向けた症例検討会や園内研修会の実施

■実施内容

実施日	主な活動内容
6月3日	児童発達支援事業所「わくわく」視察研修の実施
6月10日	児童発達支援事業所「いちばん星」視察研修の実施
12月4日	「肢体不自由児・重症心身障害児に対する発達支援」研修会参加
12月8日	「障害者虐待防止と障害者差別解消法について」研修会参加
1月26日	子育て支援研修会参加
3月12日	「第19回感覚統合勉強会」参加
1月・3月	構音障害に関する研修会参加
年5回	相談支援従事者初任者研修参加

④保護者向け勉強会の実施

■実施内容

実施日	主な活動内容
5月17日	テーマ：「ことばを育む関わり」 講師：言語聴覚士 松延 孝代 参加人数：18人
5月26日	就学相談について説明会 参加人数：24人
7月14日	テーマ：「いきいき子育て、感覚統合の視点から」 講師：OTR 渡邊 直美 参加人数：18人
11月21日	テーマ：「リラックス気分でちょい運動！」 講師：幼児体育 中村 洋子 参加人数：6人
12月12日	テーマ：「サポートブックづくり」 講師：各スタッフ（4人） 参加人数：25人
1月19日	テーマ：「コミュニケーション能力とその土台となるもの」 講師：言語聴覚士 松延 孝代 参加人数：24人

平成 28 年度

事業報告書資料集

■ 社会福祉協議会ならびに本会の概況

1. 社会福祉協議会の位置付け

(1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

(2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進する中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

(3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、平成 27 年 10 月に第 3 次計画の見直しと次代に適応する社会福祉協議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた第 4 次地域福祉活動計画（計画年度：平成 27～36 年度。以下「第四次計画」という。）による。第四次計画には、本会の基本的な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③社会的包摂にむけた生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉推進団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年	・社会福祉法人として認可
～昭和 57 年	・東部児童館事業受託 ・老人・心身障害児・身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託 ・ボランティア育成事業開始
昭和 60 年	・福祉ボランティア活動連絡協議会設立 ・宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定
昭和 61 年	・福祉教育推進指定校事業開始
昭和 62 年	・小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始） ・障害児通園事業「のぞみ園」受託
昭和 63 年	・宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転 ・愛のネットワーク活動、福祉の里づくり事業開始 ・自由ヶ丘地区社会福祉会発足 ・電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）
平成元年	・やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始
平成 8 年	・第一次地域福祉活動計画書策定
平成 9 年	・在宅介護者組織化事業開始
平成 10 年	・総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転
平成 12 年	・介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始 ・要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託 ・障害者生活支援事業受託
平成 13 年	・ボランティアセンター事業受託 ・在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ
平成 14 年	・宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・（新）宗像市社会福祉協議会誕生（平成 15 年 3 月 31 日）

平成 15 年	・ 玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化
平成 16 年	・ 宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置 ・ (新) 宗像市社会福祉協議会誕生 (平成 17 年 3 月 31 日) ・ 第二次地域福祉活動計画書策定
平成 17 年	・ 社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定
平成 18 年	・ 機能訓練 B 型 (いきいきふれあいサロン) 事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行 ・ 障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始
平成 20 年	・ 「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル ・ 「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる ・ 「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる
平成 21 年	・ 地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施 ・ 非常・災害時職員行動計画書 (平成 21 年度版) 作成 ・ 第三次地域福祉活動計画策定委員会設置
平成 22 年	・ 第三次地域福祉活動計画書策定 ・ 第二次経営改善計画策定 ・ 市窓口ワンストップサービス化にともない障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転
平成 23 年	・ 第二次福祉教育推進計画策定 ・ 東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣
平成 24 年	・ 市保健福祉会館 (ゆうゆうぷらざ) の閉館に伴い本会玄海支所を廃止 ・ 障害者基幹型相談支援センター事業を受託 ・ 宗像市障害者虐待防止センター事業を受託 ・ 宗像市社協自動販売機設置開始
平成 25 年	・ ライフサポート事業開始 ・ 認知症サポーター養成講座事業を受託
平成 26 年	・ 福津市・古賀市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を締結 ・ 宗像青年会議所と災害時相互協力協定を締結
平成 27 年	・ 第四次地域福祉活動計画書策定
平成 28 年	・ 第三次福祉教育推進計画書策定

■用語の説明

【あ】

ICF

ICFは、2002 (平成 13) 年にWHOが発表した国際生活機能分類である。ICFは、人間の生活機能と障がいについて「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の三つのレベルで構成される「生活機能」としてとらえる。この三つのレベルは、「生命」「生活」「人生」と言い換えることができる。「生活機能」の三つのレベルが相互に、また「健康状態 (疾患等)」や「背景因子 (環境因子と個人因子)」との間で、相互作用を行うことを重視するのが ICF の生活機能モデルである。

いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業 (市委託事業) による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェック、機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。高齢者のとじこもり防止の要素もある。活動内容は、口腔ケアや栄養指導、運動指導などの介護予防活動と簡単な健康チェック、学習会、機能訓練 (レクリエーション)、交流事業などである。また、「いきいきふれあいサロン」に参加できない (参加しない) 高齢者への対応として、小地域ネットワーク活動との連携強化をすすめている。

【か】

限界集落

山間地や離島において過疎化などで人口の 50%が 65 歳以上の高齢者になり、自治会活動や冠婚葬祭など地域的共同生活（活動）の維持が困難になった集落のこと。

声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などを CD-R やカセットテープに録音して情報を届ける本会の障がい者福祉活動。現在「日の里テープの会」「日の里いずみの会」「森林都市うぐいす」の 3 団体にこの活動を委託している。

【さ】

社会的包摂

ソーシャルインクルージョン（social inclusion）は、「社会的排除」の問題を解決する社会政策の理念として語られる「社会的包摂」と同意語である。「排除と包摂」という概念は、古くから用いられてきたが、これらが社会政策の重要な概念として登場するのは 20 世紀後期のヨーロッパにおいてである。特にフランスでは、1970 年代以降、社会的不適応者（薬物依存者や非行少年など）や若年長期失業者、移民労働者など、既存の福祉国家の枠組みでは対応することが困難な人々の抱える問題が「新たな貧困」や「社会的排除」などの社会問題として認識されるようになり、このような人々を社会復帰させることが、社会政策上重要だと考えられるようになった。

社会福祉法第四条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティア（名称は福祉委員や福祉員など様々）が協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。小地域ネットワーク活動は、昭和 63 年に民生委員協議会創設記念事業「愛のネットワーク活動」として福岡県では開始されたが、現在では、福祉会などの日常的な「生活支援活動」として取り組まれている。

スマイルハート

宗像市社会福祉協議会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

生活困窮者世帯

厚生労働省社会保障審議会「生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会」の報告書では、「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」が主な支援対象者として想定されているが、「地域から孤立している者」「複合的な課題を抱えている者」への対策の必要性も掲げられている。つまり、この報告書における生活困窮者とは、「経済的困窮」「孤立」「複合的課題」などの生活・地域問題を抱える人々のことで、具体的には「生活保護に至る前の段階」「生活保護受給者」といった「経済的困窮者」や「ひきこもりの人」や「ゴミ屋敷生活している人」、「ホームレス」「生活困難を抱える精神・知的・発達障がいがある人」などと考えられる。

生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助、指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

ソーシャルインクルージョン (social inclusion)

※「社会的包摂」参照

【た】

地域包括ケアシステム

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けられるように、「医療・介護・介護予防・生活支援・住まい」の五つのサービスを、一体的に受けられる支援体制のこと。

【な】

ノーマライゼーション

一般的には「共生社会」と訳されることが多い。どのような障がい者や高齢者、児童であっても人格を尊重され、人として同じ権利を享受し、地域社会（在宅）で主体的な生活と社会参加が保障されるのが正常（ノーマル）な社会であるという思想に基づき、地域の人々の正常な生活を実現していく取り組みを意味する。今日的には地域福祉や共生の基本的思想である。

【は】

ファンドレイジング

ファンドレイジング（Fundraising）とは、民間非営利団体（NPO）が、活動のための資金を個人、法人、政府などから集める行為の総称。主に民間非営利組織の資金集めについて使われる用語。社協では「自主財源の確保」に関連する事業に使われる。

福祉社会

生活課題、福祉問題を抱える要援護者が生活する小地域を活動範囲とし、要援護者の福祉問題をその人だけの問題とせず、地域住民みんなの問題として捉え、その解決策を考えたり予防したりするために、地域住民が組織的に福祉活動を推進する住民の自主的な組織。現在一般には「福祉社会」と呼ばれ、市内 13 コミュニティを活動範囲とする福祉会を「地区福祉会」、行政区を活動範囲とする福祉会を「小地域福祉会」という。